

児童生徒等の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
① 暴力行為の状況等	些細なことでの生徒間トラブルで暴力をふるう事案があった。また、指導上で注意を聞かず、先生に手を出す事案があった。事案の事実経過をしっかりとらえ、その日のうちに一定解決する方向をとり指導を行っている。
② いじめの状況等	陰湿ないじめは把握していない。アンケートや教育相談の期間を設け、早期発見に努めている。また、早期に話し合う機会を設け、生徒間のトラブルの解消を図っている。一定の解決が図られているが、継続支援中のものもある。
③小・中学校における 不登校の状況等	長期欠席生徒の現状は、毎週の主任会にて確認し、毎月の職員会議で全教職員が共有している。保護者等と連携を深めることや、事案によっては、関係機関との連携も定期的に行っている。
④高等学校における 長期欠席の状況等	
⑤高等学校における 中途退学の状況等	

※ 両表とも、小学校・中学校は①②③の項目、高等学校は①②④⑤の項目、特別支援学校は学校の状況に応じた項目について、それぞれ記入すること